



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

6/2015
(通算 661 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www/kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

全地区委員会、研修会、フレッシュ診療放射線技師の集いのご案内

公益社団法人 京都府放射線技師会

例年開催しています全地区委員会及び研修会・フレッシュ診療放射線技師の集いを下記の通り行います。ご多忙中とは存じますが是非参加くださいますようお願い申し上げます。
出欠にかかわらず 6 月 22 日(月)までに地区理事への連絡をお願いします。

日時：平成 27 年 7 月 5 日 (日)

場所：ホテルセントノーム京都 京都市南区東九条東山王町 19-1 Tel 075-682-8788

14:00 ~ 受付開始

14:20 ~ 全地区委員会

*出欠の可否については 6 月 22 日(月)までに担当地区理事まで、ご連絡をお願いします。

16:00 ~ 第 558 回研修会

会員：無料 (非会員 500 円、フレッシュ診療放射線技師の集い参加者と学生は無料)

「MRI の基礎技術」(予定)

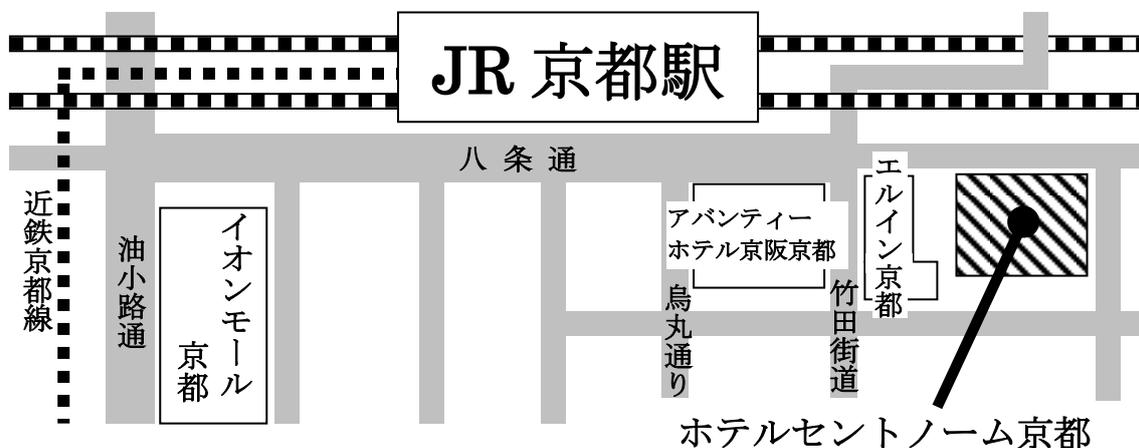
18:00 ~ フレッシュ診療放射線技師の集い

会費：新入職者でフレッシュャーズセミナー参加者(次ページ参照)は無料

入職 2~3 年目は 3,000 円、入職 4~5 年目は 5,000 円

一般会員 6,000 円

*6 月 22 日(月)までに出席の連絡を地区理事又は技師会事務所(075-802-0082)までご連絡ください。



日本診療放射線技師会、京都府放射線技師会共催

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー開催のお知らせ

京都府放射線技師会では、日本診療放射線技師会と共催で新人診療放射線技師を対象とした入会促進事業「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を開催いたします。

このセミナーでは、社会人として身につけるべきマナー、接遇、医療安全や感染に関する対策、胸部撮影で非常に重要となる気管支解剖の講義など、経験年数の浅い診療放射線技師の方にも適した講座をおこないます。今年卒業された新採用の皆さまのみならず、卒後数年の診療放射線技師も含めたセミナーです。この機会に是非、職場の未入会の方々にもご参加を後押しして頂ければ幸いです。

前ページで案内している全地区委員会・第 558 回研修会と別室で並行開催します。

【受講対象】 新卒ならびに既卒未入会者を主に対象としていますが、卒後数年の診療放射線技師からベテランまでどなたでも参加していただけます。

【参加費】 無料（技師会会員・非会員共に）

【開催場所】 ホテルセントノーム京都

【開催日時】 平成 27 年 7 月 5 日（日）13：00～受付開始

【セミナープログラム予定】

- 13：30 ～ 13：40 開会挨拶
- 13：40 ～ 14：10 エチケットマナー講座
- 14：10 ～ 15：00 感染対策講座
- 15：10 ～ 16：00 医療安全講座
- 16：10 ～ 17：00 胸部撮影講座
- 17：00 ～ 17：20 入会案内
- 17：20 ～ 17：30 閉会挨拶

【申し込み方法】

申し込みは「フレッシューズセミナー受講希望」と記載の上、氏名、所属、連絡先電話番号、卒業年度、技師会会員は会員番号を明記うえ、下記へメール又は Fax にてお願いします。

（公社）京都府放射線技師会メールアドレス：kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp

Tel & Fax：075-802-0082

【定員】 先着 50 名（人数に達した場合には締切させていただきます）

【申込締め切り】 平成 27 年 6 月 22 日（月）必着

問合せ：（公社）京都府放射線技師会事務所 TEL075-802-0082

京都府放射線技師会学術担当 原口 隆志（宇治武田病院放射線科 0774-25-2578）

第 50 回京都病院学会開催のお知らせ

広報・渉外委員会 新井 喬

京都病院学会(京都私立病院協会・京都府病院協会主催)が 6 月 14 日(日)に開催されます。なお、今回から参加費は協会会員施設の従事者は無料となりました。受付手順の若干の変更があり、このことについての詳しいことは事務局 075 - 354 - 8838 までお問い合わせ下さい。

日時：平成 27 年 6 月 14 日(日) 9：00～17：00

会場：池坊短期大学 美心館 3 階（放射線部門 第 5 会場 12：40～15：56）

参加費：医療従事者は無料、学生・市民は 1,000 円

アクセス：地下鉄「四条駅」・阪急「烏丸駅」下車、26 番出口より西へ徒歩 2 分

市バス「四条烏丸」停留所より徒歩 2 分

（構内には参加者用の駐車場はありませんので公共交通機関をご利用の上ご来場ください）

公益社団法人京都府放射線技師会第 4 回通常総会報告

公益社団法人京都府放射線技師会会長 轟 英彦

5 月 9 日にエーザイ京都支店にて第 4 回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会が開催されましたので、ここに報告いたします。

皿谷庶務理事の司会により始まった。最初に河本副会長より開会宣言がなされ、その中で 11 月開催の第 31 回日本診療放射線技師学術大会への協力を会員へ求めた。続いて轟よりあいさつが行われた。

議事 1. 議長選任の件

皿谷司会より議長立候補を求められると、会場より西地区の安藤博敏会員が立候補し、会場全員から拍手により承認された。安藤議長のあいさつの後、会員の出席状況を確認したところ、出席 44 名、委任状提出者 247 名で、総会員数 447 名の過半数を超えているため総会の成立が承認された。

議事 2. 平成 26 年度事業及び予算に関する件

平成 26 年度事業経過報告が轟と各委員会委員長より、会計決算報告が渡里財務理事より、監査報告が田城・武部監事より報告された。報告内容は先日お送りした平成 26 年度京都府放射線技師会雑誌（年報）を参照してください。それに対して東地区久保会員より、ホームページの定款・規定が平成 25 年度改定分を反映していない、平成 26 年度予算書にないが決算報告書に記念事業積立金の新公益法人設立記念事業という項目があるのはなぜか、と質問された。これに対して轟がホームページの掲載内容についてはチェック不足を謝罪し、決算報告に対しては渡里財務理事より予算書作成時点で金額が 0 円なので削除したものが決算報告では手違いで削除されていなかったものであると回答した。さらに久保会員より、この総会の参加人数に名誉会員は含まれないはずなので会場の人数より名誉会員の数は引かないといけない、と指摘がなされ、安藤議長が謝罪した。

以上、議事 2 に対して、平成 26 年度事業経過報告は賛成 41 票、反対 0 票、保留 0 票で承認、平成 26 年度会計決算報告は賛成 41 票、反対 0 票、保留 0 票で承認された。

議事 3. 平成 27 年度事業及び予算に関する件

続いて轟より平成 27 年度事業・予算に対して簡単に説明がされた（詳細は平成 27 年 4 月号ニュース参照）。それに対して田城監事より 4 月号ニュースに掲載しているからといってこの現場に資料がないのは不親切である、と指摘がなされた。久保会員より、定款上は新年度事業に対する総会での決議は必要ないとなっているが、やはりこれからの京都府放射線技師会の行く末を左右することなので、総会での議案となるように定款を改正していただきたいと意見が出された。それに対して北村副会長より、今後検討していく旨返答した。

議事 4. 名誉会員推戴の件

轟より井ノ崎光彦会員と四井猛士会員の名誉会員への推戴が提案され、井ノ崎会員に対して賛成 41 票、反対 0 票、保留 0 票、四井会員に対して賛成 40 票、反対 0 票、保留 0 票で両議案とも承認となった。

議事 5. その他

轟より無資格者による診療放射線技師業務の防止の要望書を京都市庁に提出したと

きに、京都市でもその事例は年に数件の情報提供がされており、事実を把握している、と言われたことが報告された。会員にもその事実を確認した場合は通報するようにと要望する。それに対して、西地区の四丸会員より、京都市へメールで情報提供したときに、管轄外だということでも却下されたことがあるので、どこにどういった形式で通報すればよいのか教えて欲しい、と発言され、轟から、調べて今後会員にお知らせすると回答した。

議事 6. 議事録署名人に関する件

議事録署名人選任に関して、会場より議長一任と要請があり、安藤議長が聖ヨゼフ医療福祉センターの吉田氏と大阪医科大学附属病院の服部エリカの両氏を指名し、会場の満場一致により承認された。その後、安藤議長の解任がなされた。

その後、名誉会員に推戴された井ノ崎光彦氏と四井猛士氏よりあいさつがなされた。

北村副会長より、11月21日から開催される第31回日本診療放射線技師学術大会への現状の取り組み状況をスライドを利用して説明がなされ、続いて閉会の辞のあいさつを行った。



名誉会員推戴を受け、あいさつする四井氏（左）と井ノ崎氏

第 557 回研修会報告

学術委員会 原口 隆志

5月9日にエーザイ京都支店にて第557回研修会を開催しました。今回は EIZO 株式会社技術管理部の橋本 憲幸氏に医療用モニタについてご講演いただきました。

液晶パネルの構造は大きく分けて前面の液晶（パネル）と後面の光源（バックライト）で構成されています。バックライトは長らく CCFL（蛍光管）が使用されていましたが、近年 LED タイプの物も製品化されています。液晶部分では各画素で印加電圧を変え、それで透過率が変わり、グレースケールを表示しています。コンピュータから映像信号をデジタルで受け取ったモニタがインターフェイス（I/F）を介して階調変換・色度変換・解像度変換・周波数変換・BL 制御・通信という処理を行い、バックライトと液晶に信号を送ります。デジタル信号では上記の処理ですが、アナログ信号の場合、これにアナログ-デジタル変換処理が加わります。昔使われていたブラウン管モニタ（CRT）や、現在でもアンギオ装置ではモニタが遠くに設置され、デジタル信号ではケーブルの長さの制限があるのでアナログ信号が使われることもあります。アナログでは処理の工程が増え、ノイズ成分も加わるので、デジタルを推奨します。

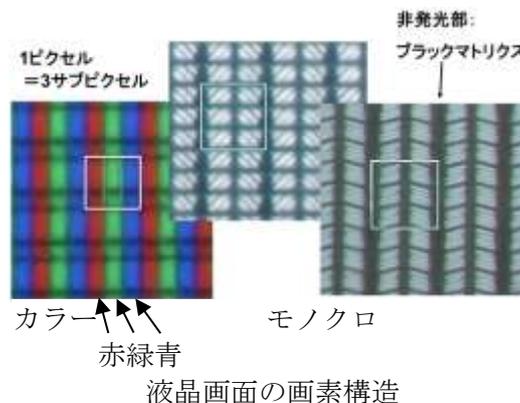


PC 中の画像が 12bit 階調のデータでも、モニタに送る信号は特殊な環境でない限り、通常 8bit になります。そのデータからモニタ内部で適切な階調に変換されます。マンモシステムの場合は PC-モニタ間を 10bit 信号で接続される場合がありますが、これは PC のグラフィックカード、モニタ、画像表示アプリケーションがそれぞれ 10bit に対応していないと表示できない特殊な環境になります。放射線科で扱う通常の画像は、

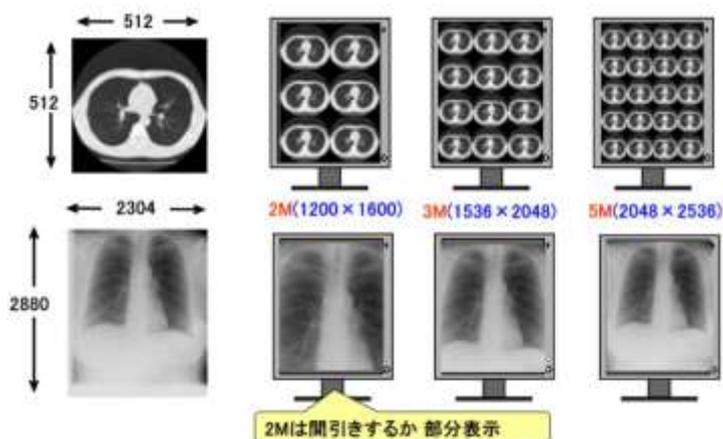
ほとんど 8bit 表示です。

人間がモニタ上に映る画像を見るときの見え方として主要要素は A 原理、構造 (モノクロかカラーか、サイズ、画素構造、解像度、階調数、表面処理、視野角等)、B ばらつき、経年変化 (輝度、コントラスト比、階調、均一性、アーチファクト等)、C 設置環境 (環境光、部屋、向き、複数面使用)、D ビデオ信号 (拡大/縮小、画像処理、データの圧縮、デジタル/アナログ等) が関係してきます。

画素構造は右図のようにカラー画像では赤・青・緑 (RGB) で一つの画素を表現します。モノクロ画像では、カラー画像と同じく 3 素子で一つの画素を表現します。液晶画面では配線が画面の中を走っていますので、その部分は非発光部 (ブラックマトリクス) として画素間に存在します。これが液晶画面表示の滑らかさに欠ける一つの要因になっていますが、構造上、なくすことは不可能です。



液晶画面の画素構造



画像の解像度とモニタ画素数の関係

解像度と画像表示の関係は、ピクセル等倍表示 (画面の 1 画素でデータの 1 ピクセルを表示する) で理解できます (左図)。CT 画像では通常 512×512 ピクセルですので、 1200×1600 画素の 2M (メガ) モニタだと 6 面表示できます。3M モニタだと 12 面表示、5M モニタだと 20 面表示できます。 2304×2880 ピクセルの胸部写真の場合、2M モニタでは全体が表示できません。3M モニタで肺野がなんとか入る程度、5M モニタでは周辺が欠けませんが、なんとか全体が表示できます。

モニタの表示階調に影響を与える主要因子は、最少輝度、最大輝度、階調特性、照明 (環境輝度) があります。このモニタ個別による表示のばらつきを統一する規格が GSDF です。人間のコントラスト感度は明るさによって変化するので、ある観察条件のもとで識別可能である最少輝度差を 1JND と定義しています。この JND と輝度 (カンデラ $=\text{cd}/\text{m}^2$) の関係を実験的に求め、入力値の変化に対して人間の知覚力が直線的となるように表示を定義したものが GSDF です。つまり、GSDF に準拠したモニタであれば、どのモニタであっても見え方が同じになります。世の中のモニタの階調には様々な形態のものがありますが、長らく主役であったブラウン管は γ 値が約 2.2 であったので、放送局の画像出力では $\gamma = 1/2.2$ の信号を使用していました。これをブラウン管で受像すると、 $\gamma = 1$ となり画像の再現性が得られます。その流れのため、デジカメやビデオカメラは今でも $\gamma = 1/2.2$ で出力されています。これは胃カメラや病理画像でも同様であり、胃カメラ用のモニタは $\gamma = 2.2$ に調整されています。そのため、胃カメラの画像を GSDF で調整したモニタで表示すると色味が変わって見えます。

カラーモニタの白表示時の各色の輝度成分は赤 (R) が 20%、緑 (G) が 70%、青 (B) が 10% の出力になっています。モノクロモニタだと、単純に輝度だけで画像が表現されます。

モダリティと PACS に使用されるモニタの表示の整合を行わないと、コンソール上と読影モニタ上の画像の見え方が変わってしまいます。そのことは Film への出力でも同様です。

モニタは使用時間に応じて劣化します。CCFL バックライトモニタの場合、劣化すると黄色味が強くなり、LED バックライトだと青味が増します。モニタの最大輝度は使用時間とともに減衰するので、最初から推奨輝度（例えば、最大輝度の 60% の強さ）で表示させておき、輝度安定化回路（自動で輝度を調整する機能）と合わせることにより、ある期間は最大輝度が減衰しても一定の輝度で表示が可能になります。それでも定期的にキャリブレーションを行わないと輝度の減衰が見られます。LED バックライトの劣化の要因としては熱や光によって素子をカバーしている樹脂や蛍光体、反射板等が劣化します。現状、LED は一番高輝度に発光する青色が使われています。その青色 LED を黄色蛍光体が含有する樹脂で覆うと、白色の光になります。この樹脂や蛍光体が劣化し、黄色の発色が薄くなると、青色が強くなったように見えます。この LED の劣化は蛍光管の劣化に比べると長寿命ですが、それでも劣化は見られます。LED 照明や LED テレビが劣化しないような説明がなされていることが多々ありますが、LED バックライトにも劣化はあります。

長期間の安定した使用のためには、設定輝度を下げる、未使用時の電源オフが必要です。スクリーンセーバーや自動モニタオフの設定を行うことにより省電力になり、空調費削減にもつながります。

周辺光も表示に大きく影響します。特に低輝度（黒色）領域では反射光の影響が大きいため、周辺光の影響は黒画面で確認します。周辺光が高いと低輝度でのコントラストが低下します。そもそも、モニタのコントラストは Film には及ばないので、モニタ診断の場合はできるだけ周辺光は少なくするべきです。

モニタの表面処理でもコントラストに大きく影響します。表面処理を行っていないモニタは周辺光の反射が大きく、映り込みが大きくなります。AG 処理を施すと反射光が分散され、映り込みは少なくなりますが、それと同時にモニタ表示している光も分散され、コントラストが低下します。AR 処理はある波長の反射光だけを少なくする処理で、モニタ表示している光は分散されません。対応する波長を幾重にも処理することで映り込みを抑えることができます。

以上の説明を踏まえると、モニタの品質管理の必要性が理解できます。輝度／階調特性のバラつきをなくし、施設内のどのモニタで画像を見ても同じに見えるようにし、劣化による輝度の変化・読影環境の変化にも対応しなければいけません。そのために、キャリブレーションや電源管理、定期的な確認・測定を行います。それにより表示の一貫性の確保、モニタの異常・輝度低下の早期発見、裏付けのとれた診断環境の維持が可能となります。

クロストークという現象は黒又は白色の領域の延長線上に黒・白のラインが見られる現象で、画面の端にムラが生じることもあります。この 2 点は経年劣化で発生する場合があります。目視評価が必要になります。輝度測定は内蔵型、密着型、望遠型があり、照度計にも内蔵型と汎用型があります。こうした目視・測定評価を定期的に行うことで、安定した画像の提供と劣化時の処置や保障の把握ができるようになります。

健診施設では外部の精度管理評価が求められており、肺がん検診では肺癌学会より解像度 3MP 以上、輝度 300cd/m² 以上、GSDF 階調特性が指針になっています。じん肺検診では厚生労働省より解像度 3MP 以上×2 面、輝度 300cd/m² 以上、GSDF 階調特性が指針となっています。乳がん検診に関しては、乳がん検診精度管理中央機構より解像度 5MP 以上×2 面、GSDF 階調特性が指針とされています。こうした指針にはモニタの基準も盛り込まれており、モニタの品質管理の必要性がわかつています。

第 2 回理事会報告

平成 27 年 5 月 9 日

議長に大西理事、書記に山根理事を選任し午後 17 時 00 分より議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告および計画 森会長**

(経過報告)

- 4月16～18日 日本放射線技術学会大会企業展示回り横浜
- 4月25日 日放技第1回理事会 日放技事務所
- 5月9日 第557回研修会 エーザイ会議室
- 京放技第4回通常総会 エーザイ会議室
- 平成27年度京放技第2回理事会 エーザイ会議室

(計画)

- 6月5日 エックス線発見120年記念式典
パレスホテル東京
- 全国学術大会打ち合わせ 東京
- 6月6日 日放技総会 TKP ガーデンシティ竹橋
- 日放技第2回理事会 日放技事務所
- 平成27年度京放技第3回理事会 京放技会議室
- 6月13日 第49回京都病院学会 池坊短期大学
- 6月20～21日 関東学術大会 千葉県
- 6月27日 全国学術大会プログラム・システム委員会
京放会議室
- 7月5日 フレッシュアップセミナー セントノーム京都
- 第558回研修会 セントノーム京都
- 全地区委員会 セントノーム京都
- フレッシュ診療放射線技師の集い セントノーム京都
- 7月11日 平成27年度京放技第4回理事会 京放技会議室
- 7月24or31日 第559回研修会 京都アスニー
- 7月25～26日 日放技会第3回理事会 神奈川県湯河原
- 8月1or8日 全国学術大会最終プログラム・システム委員会 京放技会議室

(その他)

- 全国学術大会への協力依頼を京都府下100施設あてに発送
- 各種学校に学術大会演題発表依頼
- 全国大会プログラム・システム委員会を6月中旬に開催
- 全国学術大会実行委員会を5月中旬に開催

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】皿谷理事**

- 会員数 4月30日現在478名(先月-20)
- (内訳) 名誉会員4名・正会員447名・賛助会員27名(社)
- 転出1名、退会19名
- ※平成27年度新入会累計0名

- 委員会報告
- 対外文書123件、発刊文書8件(4月1日～4月30日)
- 新入会1名を承認

【財務】渡里理事

- 会費納入状況(平成27年3月末日現在)401名(85.1%)
- 平成27年度分納入91名、平成26年度分納入10名
- 平成26年度会費未納者23名、平成25年度未納者4名
- 京放技ニュース広告料3社6万円、賛助会費10社25万円、京放技入金101名100万円

- 4月3日 委員会開催 京放技事務所
- 4月4日 委員会開催 京放技事務所
- 4月16日 委員会開催 京放技事務所

【学術】原口理事

- 4月16～19日 第71回日本放射線技術学会総会学術大会
参加 パシフィコ横浜
- 5月9日 第557回研修会開催 エーザイ京都支店
- 5月21日 学術委員会開催予定 京放技事務所
- 7月5日 第558回研修会、フレッシュアップセミナー開催
予定 ホテルセントノーム京都

【編集】中島理事

- 4月17日 南地区委員会出席 京都医療センター
- 4月24日 京放技ニュース5月号校了
- 4月27日 平成26年度京都府放射線技師会雑誌校了
- 4月28日 (公社)京都府放射線技師会定款・規定校了
- 5月9日 平成27年度通常総会出席 エーザイ京都支店
- 5月18日 6月号ニュース編集作業予定 田辺中央病院

【広報・渉外】新井理事

- 4月24日 病院学会準備委員の変更を事務局に連絡
- 4月28日 京都府への補助金申請書類の誤表記の修正

- 5月12日 「第50回京都病院学会第4回実行委員会／第6回理事会／会場見学」合同開催出席
京都市立病院協会会議室
- 6月2日 「第50回京都病院学会第5回実行委員会／第7回理事会」合同開催出席
- 6月13日 「第50回京都病院学会」設営・準備予定
池坊短大
- 6月14日 「第50回京都病院学会」出務・撤収予定
池坊短大
- 7月7日 「第50回京都病院学会反省会」出席予定
京都私立病院協会会議室

【組織調査】久保田理事

- 5月8日 新入職者案内紹介の発送作業
- 5月下旬 入会案内、フレッシュ診療放射線技師の集い案内発送作業
- 7月5日 全地区委員会開催予定
- 各施設の今年度新入職者の紹介を要請

【厚生】中川理事

- 7月5日 フレッシュ診療放射線技師の集い開催予定
ホテルセントノーム京都
- 10月18日 近畿地域放射線技師会野球大会開催予定
奈良県桜井市芝運動公園

【情報】中田理事

- 4月15日 ホームページに総会資料を掲載
- 4月16日 研修会詳細を掲載
- 4月18日 求人情報を掲載
- 4月20日 認定資格者リストを掲載
- 5月4日 京放技ニュースを掲載

【管理士】山根理事

- 4月 アンケート調査案検討

【受賞者選考委員会】河本副会長

- 30年表彰者に1名が追加承認され、合計7名が京大会にて表彰される。50年表彰者は1名。

II. 地区経過報告及び計画に関する件**1) 【北地区】山本理事(庶務代読)**

- 4月27日 第4回通常総会の出欠はがきの提出依頼を連絡網にて配信

2) 【中地区】楡理事

- 4月13日 連絡網にて、技師会行事、講習会、研修会の案内を配信
- 4月16日 連絡網にて、京放技第557回研修会の詳細な案内を配信
- 4月23日 中1班の地区委員の後任選出の依頼
- 4月25日 連絡網にて、総会出欠ハガキの投函依頼
- 5月1日 連絡網にて、事務所未到着の方へ総会出欠ハガキの投函の依頼

- 地区委員会の開催を調整中
- 地区委員の交代を承認

3) 【東地区】長岡理事

- 4月27日 地区委員に通常総会の出欠はがきの提出の催促を配信

- 地区委員の変更の承認

4) 【西地区】平井理事

- 4月2日 西地区一斉メールにて「訃報」の連絡
西地区委員へメールにて「総会後懇親会」の連絡と出欠確認
- 4月28日 西地区一斉メールにて「第4回通常総会」呼びかけと出欠はがき返信送付のお願い

5) 【南地区】大西理事

- 4月17日 第557回の研修会の案内と総会と懇親会の案内をメールにて配信
平成27年度第1回南地区委員会開催(5名参加)
京都医療センター

- 総会のハガキの提出の徹底を依頼

- 4月23日 総会と懇親会の出欠確認をメールにて配信

- 5月1日 総会の案内をメールにて配信

6) 【両丹地区】上田理事

- 4月11日 30年表彰対象者通知(河本副会長へ)、退会届1名(庶務理事へ)

- 通常総会出欠発送依頼

- 4月16日 第557回研修会案内

7) 【西南部地区】松本理事

- ・ 4 月 16 日 「第 557 回研修会」「第 4 回通常総会」の案内メール送信
- ・ 4 月 21 日 第 4 回通常総会出欠届けの提出案内メール送信
- ・ 4 月 23 日 地区委員会日程調整メールの送信、懇親会参加連絡メール送信
- ・ 5 月 5 日 第 4 回通常総会出欠届けの提出案内メール送信
- ・ 5 月後半に平成 27 年度第 1 回の西南部地区委員会開催を予定 現在、日程調整中

III. その他

1) 全国学術大会 (北村)

日放技より、日放技企画のプログラムの追加等の連絡が来ている。ランチョンセミナー、教育講演等の演者への趣意

書を作成している段階。6 月 5 日に日放技と打ち合わせを行う予定である。

2) 法改正に伴う統一講習会について (森)

法改正に伴う統一講習会のシステムが 6 月半ばに完成する。7 月に実施マニュアルが作成され、7 月 13~14 日に東京、8 月 2~3 日に和歌山でトライアルとして開催する予定である。京都での開催でも実行委員を最低 6 名用意しなければいけないので、学術委員会で計画しなければいけない。現在、12 月に開催するつもりである。全国大会中には開催するつもりはない。

次回理事会は平成 27 年 6 月 13 日(土)京放技会議室にて開催予定

以上、各議案について採択し承認された。(文責: 山根)

求人のお知らせ

京都市左京区の整形外科医院にてパートの求人があります。
詳しくはホームページか事務所までお電話ください。

新入職者の紹介のお願い

平素は京都府放射線技師会にご協力ご理解を頂きまことにありがとうございます。
我々の職種を守り地位向上を目指す唯一の職能団体である技師会が、力のある団体となるためには会員数を増やして組織力を高めることです。

そこで各会員の皆様をお願いします。施設に就職された卒業後 2~3 年までの技師会未入会の方をご紹介下さい。ご連絡は事務所へ Fax かメールにてお願いします。

今回収集した個人情報に関しては、新入会案内並びに 7 月 5 日開催の「フレッシュ診療放射線技師の集い」、日本診療放射線技師会主催の「フレッシュャーズセミナー」案内を送付する目的以外に使用しません。尚、情報の管理は適切に行います。

ご理解の上、組織調査委員会に協力をお願い致します。(組織調査担当 久保田)

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 法改正に伴う統一講習会は 7 月 13~14 日に東京、8 月 2~3 日に和歌山でトライアルとして開催する予定である。これを踏まえて順次、全国にて開催してゆく予定である。

▶ 6 月以降の京放技活動

- | | | |
|-------------|--|-------------|
| 6 月 14 日(日) | 第 50 回京都病院学会 | 池坊短期大学 |
| 7 月 5 日(日) | 第 558 回研修会、全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い
診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー | ホテルセントノーム京都 |